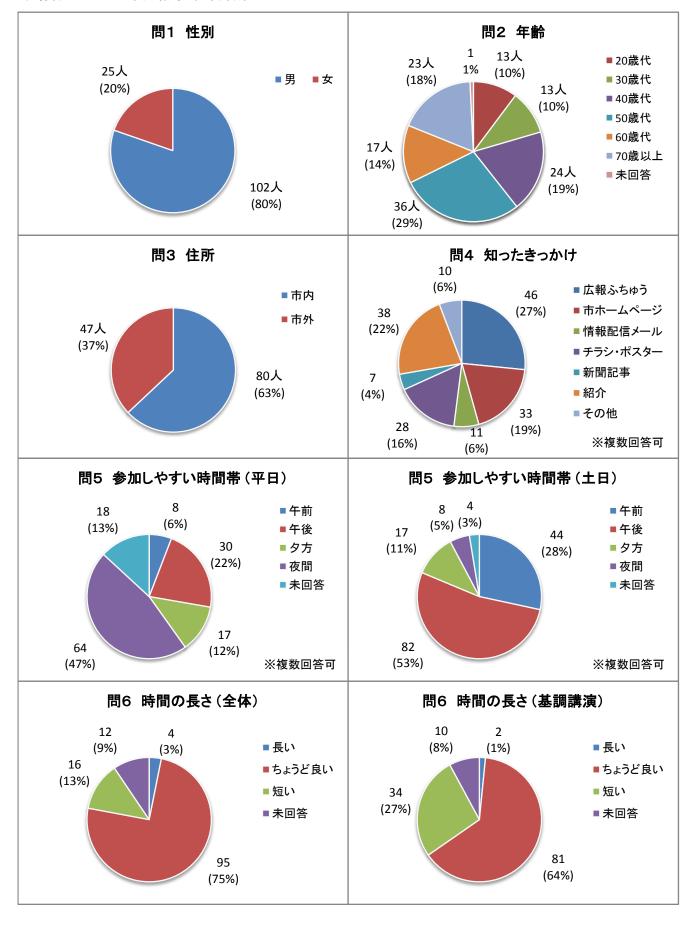
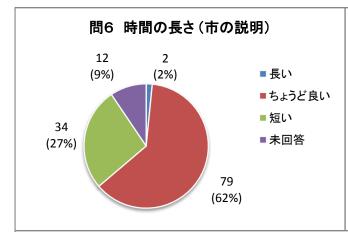
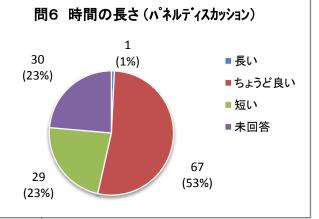
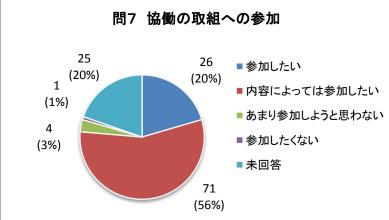
来場者アンケート集計結果(回答者数 127人)









大変参考になりました。このような機会をつくっていただきたいと思います。
協働はまず全職員の意識から。
府中市は今、ハコモノの集約を行わなければ大変なことになると思われます。市民の利用度の調査を早急に行い、ピックアップを行い、一部の市民の反対があっても実効することが必要。「公共施設やインフラ」の点検・チェック等について、現役ではなく、リタイアした技術者の活用が必要。目が肥えており、経験も豊かな人をチェックの担当者とする。責任感があり、報告も適正で、しかもローコストです。
具体的に圧縮される施設の計画が出てくれば、市民との話し合いは必要、重要となってきます。私は 声をあげにくい、子どもたちや若者の気持ちをしっかりと受け止めて公平、公正に進めてほしいと思い ます。時間どおりに進めていただいてよかったです。
今後も積極的に推進してください。
市の施策の現状や、有識者による全国の現状を踏まえた示唆をコンパクトにまとめて吸収することができる、有意義な機会だった。府中市の公共施設・インフラマネジメントの今後の取組に期待します。
ポイントがコンパクトに扱われて、内容の濃いシンポジウムでした。よい方向に進むよう期待しています。
公共施設を建設する際、市民の大反対を無視して建てておいて、今頃問題点に気付くのはいかがなものか。
市民に対しての公共施設、インフラマネジメント、財政の啓発、勉強会が必要。市長が先頭に立って、 文化センター等で話し合いするように。グリーンプラザは老朽化が進んでいるが、建て替えしないで広 場にしてもらいたい。身の丈に合ったことをすれば良い。美術館のような失敗を絶対しないように。様々 なことで、ずっと市民が言ってきたことに耳を貸さない行政があったことも問題だ。
今後この内容の実行の意味と必要性がよく理解できた。これからの運営に期待したい。
最終的な実行計画では、削減量(面積)、削減目標額を定めるのか。施設総量の削減は、総論賛成・各論反対になる。市民の意見をどこまで反映させるのか。地域のエゴをどう取り扱うのか。地方交付税の不交付団体ゆえの悩みがあると思うが、内部努力も併せて行う必要があるのでは。市民にだけ痛みということではなく、職員の人件費にもメスを入れる必要があるのではないか。
特に公共施設の老朽化の問題は、広く市民が共通の理解を持って進めていくことが大切で、今後もより踏み込んだ議論ができる場を設定していっていただきたい。
パネルディスカッションという形になっていなかった。府中市の図書館は現状の運営なら単なる貸本屋である。図書館法にある教育はほとんどやっていない。特に文化センターの図書館は民間に委託する必要がある。そうすれば、開館時間がもっと長くなる等である。入札はプロポーザル方式にしてほしい。
市庁舎の建て替えや文化センターを含む複合施設のあり方検討協議会など、参加したいと考えています。
税金の使い方は市民のくらし、福祉、教育を第一にして、次に市の環境整備に力を入れる。汚いまちは許せない。開発事業は中止を。
問題・課題を早期に市民に伝え、解決策を市民と作ることが肝要かと思います。説明責任の一端として本日の会は有意義だと思います。
市職員の方の説明が早すぎてわかりにくい。さらには、もっと具体的に説明がほしかったです。根本祐二氏の話がわかりやすく、現状→問題点→取組→具体的な対策など、誰でもわかる言葉でありがたかったです。
こうした取組は、引き続き進めてください。市民全員が危機感を持って、協力していくためにも、行政が 今しばらくは進めていくしかないと思います。
このようなシンポジウムが開催されること自体が、先進的ですばらしいと思った。
会場からの質問が各論に触れていたが、回答が的確でした。市は方針からぶれず、新たに造る分を別途減らすようにしてほしい。
多摩26市共通の課題であるインフラへの取組ですが、先進的に進められていてすばらしいと思います。市民ホール、図書館等は他市と共通利用できたら良いですね。図書館は例がありますが、市民ホール、体育館は1市に1つ以上は欲しいでしょうからね。
施設数の多い府中市が、いち早くこのような問題に取り組むことは、大変よいことだと思います。
先生のお話が非常にわかりやすかった。これをうまく市民や職員に伝えていけるとよいと思う。
市、議員、職員、そして市民の責務がわかってよかった。
大変有意義なシンポジウムであった。講師の講演が少し短かったと思う。もう少し時間があってもよ かったのではないか。

50歳代・男性	根本先生の講演は具体的で理解しやすかった。職員の説明も、問題点が明確でわかりやすかった。高野市長は全体をよく把握しておられ、質問にも適切に答えられ立派である。今回のように問題となっていることを市民に問うシンポジウムの場は、とても重要だと思った。
50歳代・男性	とてもわかりやすかった。
60歳代・男性	公共施設の包括委託や民間委託、大いにやっていただきたい。ただし、結果がどうであったかのモニタリングは常に行い、市のご担当や事業者にフィードバックして、より良いサービスになる(継続できる)仕組みを構築していただきたい。公共施設マネジメントの進捗状況は適宜市民に開示していただきたい。
50歳代・男性	短い時間の中で、内容豊富であり、大変参考になりました。ありがとうございます。
30歳代・男性	講師の講演は分かりやすかったのですが、市の説明は抽象的な部分が多いと感じました。
50歳代•女性	前半はデータ・考え方の羅列でしたので、あまり印象がよくなかったのですが、パネルディスカッション の山本先生の話がわかりやすく、それでイメージ化ができ、とてもよくわかりました。
70歳以上·男性	府中市の将来を考えると、インフラマネジメントを推進することは必要不可欠で、大賛成であり、推進していただきたい。
20歳代・女性	図書館では、相互利用というものがありますので、本だけでなく、地域間で施設の貸し借りがあっていいのだなと勉強になりました。人口が減少していきますし、施設が減っていくことは受け入れることができます。施設より、内容・中身のサービスである。やはり、人の力だと思いました。地域、市民と行政の協働がこれからはより一層必要なのだと思いました。
60歳代・男性	本年度より始まった生涯学習センターの民間事業体への管理委託は、その効果を年度末に検証することと思うが、大いに関心があり、費用の点がどの程度節減されるか。隣接市との施設の共同利用等を講演者が述べていたが、府中市の例えば庭球場などは、近隣の市からの使用者の方が多いのではないか。市外料金が本当に徴収されているのか。料金の点も含めて実情が知りたい。他の施設も結構市外の人が多いのが実態。芸術劇場、美術館、生涯学習センター、文化センターと、問題はあっても府中市民にとっては誇りであることは間違いない。十分考えて、将来の方向を早く示してほしいもの。
60歳代・男性	市政全般における哲学の有無に基づく市民との関わりにおいて、いかに市民生活の円滑化を図る立場としての目線を置いて、市民・行政それぞれが携わるべきかといった討議の場を見られる機会を多く与えてください。
70歳以上・男性	インフラについて、道路か水道かわからないが、短期間で道路が何度も掘り起こされており、一斉にできないものか。同時に作業を進めてもらいたい。アドプト制度について、地域を愛する人のコミュニケーションの誘導・誘発により、高齢者をはじめ多くの人の元気が出る、活性化につながるような方法が重要。
20歳代・男性	府中市が、全国でも画期的なモデル事業であるインフラの取組みを実行していると今日初めて知りました。これから、持続可能な社会を目指すためにも協力したいと思いました。
50歳代・男性	「広域化」は、現実的には難しいのではないかと考えます。
70歳以上•男性	全市民に平等の市民サービスを提供するため、文化センター方式は有効かつ重要。一点豪華主義 (例:美術館等)は不要、浪費であり、また現状でも過剰なもの(例:人件費、施設の夜間開放等)はある。改革を進めていくうえで、職員内で抵抗勢力はないのか。
70歳以上•女性	シンポジウムに初参加ですが、インフラについて少し理解できそうです。本日はありがとうございました。
70歳以上•女性	大変な問題だと気付きました。
50歳代•男性	基調講演・市の説明ともにかけ足になってしまい、説明不足(説明しきれない)と感じた。お金がないから知恵を出しているというイメージを強く出してもらいたい。お金がないからこの方法しかないという説明では、なかなか理解してもらえないのではないでしょうか。
50歳代・男性	行政は、建物を建てると建てっぱなしで、計画的な修繕は全くなく、漏水したらやっと改修にのりだす。また、改修した資料は、カルテとして保存がない。これでは、府中市の公共施設は建物全体が病んでいる状況です。市庁舎、南口再開発の前に、府中市のインフラ整備が優先ではないか。府中市の中心市街地に駐車場が集中し、休日等は道路が渋滞している。パークアンドライドを活用すべきでは。
40歳代・男性	内容が盛り沢山すぎという印象。
60歳代・男性	改めて提案をいたします。
20歳代•男性	市民理解を得て、共に考えていくことが重要な課題だと思う。そのための説明会や意見交換会を充実 させる必要がある。